

修了評価の方法、評価者、
再履修等の基準

全科目を履修し、かつ各科目「修了時の評価ポイント」に沿って習得度を評価する。「9.こころからだのしくみと生活支援技術」における、介護に必要な基礎知識の理解度は筆記による確認テストで行い、生活支援技術の習得状況は実技試験で確認を行う。修了評価試験は全科目履修後に1時間程度実施し、60点以上を合格とする。それらを総合的に判断し、水準以上と認められた者に対して修了証明書および携帯修了証明書を発行する。また、修了評価試験が不合格の場合1回を限度に再試験を受けることができる

評価者:担当講師

再履修等の基準:評価時において未達成と認められた時。